

## スタートアップ・エコシステムの発展に向けた、みずほ銀行とインキュベイト ファンドの業務提携および IF Growth 1号ファンドへの出資について ー産業変革とディープテックの社会実装を加速ー

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）とインキュベイトファンド株式会社（代表パートナー：赤浦 徹、本間 真彦、和田 圭祐、村田 祐介、ポール・マクナーニ、以下「インキュベイトファンド」）は、本日、国内スタートアップの成長支援において、デット・エクイティ両面からのファイナンス手法の高度化およびディープテック領域を中心とした新産業創出に向けた連携強化を目的として、業務提携契約を締結（以下「本提携」）しました。

また、みずほ銀行は本提携と同時に、インキュベイトファンドが東京都とともに設立した、日本国内におけるグロスステージのスタートアップを投資対象とする「IF Growth 1号投資事業有限責任組合」（以下「IF Growth 1号ファンド」）へ出資しました。

同ファンドは今後、総額 300 億円規模まで拡大する予定であり、みずほ銀行は民間企業の主要投資家として、最大 50 億円を出資します。

# INCUBATEFUND

# MIZUHO

### 1. 業務提携の背景：日本が直面する課題

現在、日本のスタートアップ・エコシステムは大きな転換点を迎えています。優れた技術や事業モデルを持ちながら、資本金の厚みや出口戦略の多様化の欠如により、スケールアップの壁に突き当たるケースが少なくありません。特に、複数の同業種企業を買収・統合することで事業規模の拡大、効率化をめざす「ロールアップ戦略」や、長期かつ多額の資金を要する「ディープテック」の領域では、既存の枠組みを超えた金融機能が強く求められています。

### 2. 本提携の目的と意義：トップチームによる課題解決の推進

この課題に対し、国内の金融・投資領域を牽引してきたみずほ銀行とインキュベイトファンドは、スタートアップの M&A による産業再編とグローバル市場で勝ちうるディープテックの社会実装を後押しするために、各々の専門性や知見を共有し、デットとエクイティを融合した、新たなファイナンス連携を強化していくことで合意しました。

本提携は、国内スタートアップ・エコシステムの発展を実現していくための重要課題に対し、成功の型（ベストプラクティス）を探求することを目的とし、当該取り組みに賛同

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

を得られるすべてのステークホルダーに対し、「開かれたエコシステム」の形成をめざします。

### 3. 具体的な取り組み事項

#### (1) 産業再編型 M&A ファイナンスの高度化

連続的な M&A を通じて成長をめざすスタートアップに対し、買収資金をデット（融資）とエクイティの両面からシームレスに提供し、既存産業の変革・統合を牽引する成長企業の挑戦を支援します。

#### (2) ディープテック領域の産業創出

大学発ベンチャー等、研究開発型事業の長期成長を支えるファイナンス・スキームを共同開発し、技術の社会実装を金融面からフルサポートします。

#### (3) エコシステム・コミュニティの開放

シンジケート・ローンやグロースファンドでの連携等を通じ、本提携で培ったスキームや知見を、志を共にする他の金融機関や事業会社にも共有していくことで、日本全体を巻き込んだ大きなうねりを創出します。

今後もみずほ銀行とインキュベイトファンドは、リスクマネー供給を通じたスタートアップの成長を積極的に支援することで、トリリオン（一兆円）企業の創出を目指し、スタートアップ・エコシステムひいては日本経済の更なる発展に貢献していきます。

#### 【みずほ銀行の概要】

会社名	株式会社みずほ銀行
本社所在地	東京都千代田区大手町一丁目 5 番 5 号
発足	2013 年 7 月
代表者	頭取 加藤 勝彦
資本金	1 兆 4,040 億円
事業内容	銀行業

#### 【インキュベイトファンドの概要】

会社名	インキュベイトファンド株式会社
本社所在地	東京都港区虎ノ門五丁目 9 番 1 号 麻布台ヒルズガーデンプラザ B 5F
設立	2010 年
代表者	代表パートナー：赤浦 徹、本間 真彦、和田 圭祐、村田 祐介、ポール・マクナーニ
資本金	7,240 万円
事業内容	ベンチャー企業の投資・育成

【IF Growth 1号ファンドの概要】

正式名称	IF Growth 1号投資事業有限責任組合
運営事業者	インキュベイトファンド株式会社
組合設立日	2025年3月9日
投資対象	日本国内にて事業を行う、既存産業を変革するインパクトスタートアップおよび新産業を創出するインパクトスタートアップのうち、グロースステージ（主にレイター期）の企業

以上